

第 65 回名古屋高速道路公社運営会議議事録（要旨）

● 日 時：2026 年 6 月 29 日（月） 15:00～15:40

● 場 所：名古屋高速道路公社 黒川ビル 2 階大会議室

● 出席者

会長	愛知県知事	大村	秀章	
委員	名古屋市長	広沢	一郎	
//	東海財務局長	吉田	昭彦	
//	中部地方整備局長	森本	輝	
//	名古屋商工会議所会頭	嶋尾	正	（代理）専務理事 内田 吉彦
//	名古屋銀行協会会長	小野寺	雅史	（代理）専務理事 野原 強
//	名古屋高速道路公社理事長	松井	圭介	

● 議事

- (1) 名古屋高速道路の現状
- (2) 経営状況
- (3) 今年度の取組

● 意見交換

（広沢委員）

- 都心アクセス事業は、リニア中央新幹線の開通を見据えると、この地域全体にとって大変重要なものである。リニアの開通効果をより確かなものとするため、着実に進めていただきたい。
- 交通量が増加している一方、渋滞や事故も増加しているという課題もあり、安心・安全の観点から、着実に改善に向けて努力していただきたい。

（吉田委員）

- 今年はアジア競技大会及びアジアパラ競技大会、来年のゴールデンウィークにはアジア開発銀行年次総会があり、要人の方等の快適な移動実現が成功の要素となる。愛知・名古屋への国際的なイベント誘致、産業の振興のため、快適な移動環境の確保をお願いしたい。
- 今後、金利の上昇、コスト高、人手不足等が見込まれる中、償還が順調に進んでいくという見通しに変化が生じないか目配りをしていただきたい。

（森本委員）

- 名岐道路について、本年 1 月に有料道路事業化したところである。地元の調整や工事の調整は、中部地方整備局と密に連携し取り組んでいくようお願いしたい。
- 道路の安全性向上に向けた新技術の活用、脱炭素化への取組等、多様な観点で事業に取り組んでいただき感謝する。

(嶋尾委員代理 内田専務理事)

- 都心アクセス事業は、都心の渋滞緩和やリニア開通後の広域的な時間短縮など、地域にとって大変重要な事業であることから、引き続き関係者間の協議、丁寧な説明を進め、一日も早く竣工できるよう工事を進めていただきたい。
- 大規模修繕工事や逆走・誤進入への対策は利用者の安心感につながる大事な事業である。交通量が増加していることを踏まえ、安全対策として、案内標識などについても誰が見ても分かりやすい状況を維持できるよう、必要に応じて修繕・改良をお願いしたい。
- 名岐道路の開通により、慢性的な渋滞が緩和され、航空宇宙産業などものづくりの一大集積地である生産拠点と名古屋港やセントレアを結ぶ道路ネットワークを強化し、地域産業の発展に大きく寄与することから、一日も早い実現をお願いしたい。

(小野寺委員代理 野原専務理事)

- 中東情勢による交通量への影響を心配していたが、緩やかな上昇傾向を維持しており、予算上も同様の見通しとのことで安心した。引き続き、渋滞対策や利便性向上に取り組み、安定的な収入確保に努めてほしい。
- 一方、今後は資材価格や金利の上昇が見込まれ、各地で工事延期の事例も見られている。借入金償還の観点だけではなく、建設・修繕等工事を着実に進めるためにも、収支計画に基づき事業に取り組んでほしい。

(松井委員)

- 今後も事業に着実に取り組んでいくとともに、人手不足や物価上昇、コスト高については、社会情勢を踏まえ、コスト縮減や現場作業の効率化に努めていく。ご指導・ご支援をお願いしたい。

(大村会長)

- 交通量はコロナ前を超えて順調に伸びているということで、新たな事業である黄金・栄・新洲崎と名岐道路についても、引き続き着実に進めていただきたい。
- 長期ビジョンで掲げた公社の目指すべき将来像の実現に向け、着実に取り組みを進めていただきたい。名古屋都市圏の基幹的な道路網として、今後も期待される役割をしっかりと果たしていけるよう、皆様の一層のご支援をお願い申し上げたい。